

なお、そのセットに出場しない選手も、フェンス（卓球用）の外側へ出なければならぬ。

【安全対策】

競技時の服装は安全のため長袖・長ズボンの着用が望ましい。
履物は一般的な体育館用運動靴とし、素足・スパイク等は許可しない。
手は素手とし、手袋等の使用は認めない。（テーピングも不可）
最後尾の選手（アンカーマン）は、用意されたヘルメットを使用する。
綱の中心の白テープの近くをもつことを禁止します。（H28 追記）

【勝負の方法】

勝負は、相手を2m引き込んだとき勝ちとする。ただし、1分経過時に勝負が決定しないときは、その時点で優勢なチームの勝ちとする。なお、小学生の部の予選リーグにおいては30秒経過時とする。

試合は、3セットとし、先に2勝したチームがその試合の勝者となる。

競技中に左右どちらか1m以上振れたチームは、危険行為とみなしそのセットは負けとする。

【組み合わせ及び試合の方法】

予選の組み合わせは事務局が事前に決定する。

試合は、予選リーグ及び決勝トーナメントとする。（参加チーム数により変更する場合がある）

予選リーグで勝ち数の同じチームが複数出た場合は、まず得失セット差で判断して、次に直接対戦での勝敗で判断する。それでも決まらない場合は1本引きで勝負する。

【登録変更およびメンバー変更】

登録変更は受付時に行うことができるがそれ以降はできない。したがって受付終了後選手が他のチームで試合をすることはできない。

試合を行う選手と補欠の交代は、セットごとにすることができる。その際、キャプテンが主審に報告しなければならない。

【マナー】

競技者およびチーム関係者等は、言葉や態度に十分注意すること。

競技の勝敗が決した際の転倒防止のため、笛が鳴ってもロープからすぐに手を離さないこと。

《 競技中及び応援中 》

運営及び競技上の問題が生じた場合は、応援者ではなくキャプテンが審判長に申し出て、主催者（審判員を含む）が協議して決定する。

キャプテン及び連絡担当者等は、参加者及び関係者に対して「実施要項」の内容（特に事業の目的）を周知させること。

【その他】

アリーナにおいてスプレーなどの滑り止めをすることは禁止。

靴底のホコリを取るための雑巾の持参は可能。

雑巾は主催者が用意した場所に置き、コート内への持ち込みは禁止。使用については審判員の指示に従うこと。

■審判・記録員

- ・主審 1名
- ・副審 2名（それぞれロープの端につく）
- ・記録係 1名
- ・タイム係 1名

■試合進行手順

【競技開始】

①記録係

試合前、記録係はプラカードのチームが試合進行と合っているかを確認する。
その後、主審に各チームの男女構成や人数などの情報を伝える。

②ロープを床に置いたまま、両サイドに各チーム左手にロープを見て主審に向かって整列する。その際、アンカーマンはヘルメットをつけておく。

③主審

「ただいまより、〇〇〇チームと△△△チームの試合を始めます。気をつけ、礼。」

④主審

「試合に出る選手以外は（卓球用）フェンスの外へ出てください」

⑤副審

- ・アンカーマンに腰から肩へ綱を通させる。
 - ・選手が小学生は10名以下、中学生は7名以下であることを確認する。
- ※準備がそろったら副審は白旗をあげるが、準備が整うまでは赤旗をあげている。

⑥主審

※両方の副審が白旗をあげたのを確認したら

「ロープを持って」

- ・選手はしゃがんでロープをつかむ。

⑦主審

「ロープをあげて」

- ・選手はロープを頭上にあげる

⑧主審

両手をあげて

「構えて」

- ・選手は腰のあたりにロープを降ろし、引っ張る構えをとる。
- ※ロープがセンターに来るよう調整する。その時も片手をあげて、センターがどっちに寄っているかを示し、調整を促す。

⑨主審

ロープがセンターに来たら速やかに

「レディ、ゴー！」

- ・主審はロープをつかんでいた両手を離し、両手を振り上げる。
- ・同時にタイム係はストップウォッチをスタートする。

【1セット目の終了間際】

① タイム係

1分(小学生の予選リーグは30秒)が経過したら、笛を長吹きして終了を告げる。

②主審

決着がついたら、選手の転倒防止のためロープをしっかりとつかむ。

「〇〇〇チームの勝ち。続いてコートチェンジをします。ロープを左手に前へ進んでください」

両サイドの選手を入れ替える。

※3セット目は選手の入替えはなし。

【試合終了】

①主審

「〇〇〇チームと△△△チームは、▲対▼で〇〇〇チームの勝ちです。お互いに礼。」

②記録係

結果を用紙に記入し、速やかに本部へ提出。

※記録した用紙を本部へ持っていくのは記録係以外でも結構です。